



Pentecost

2026
2月

福井自由キリスト教会創立70周年アニバーサリーコンサート (2025年10月25日 ハーモニーホールふくい)

献身の証し



2006年8月30日、家内が天に召されました。悪性リンパ腫という血液性の癌でした。私は毎日祈りました。「どうか家内を癒やしてください。この祈りを聞いてくださるなら、私は残りの人生をすべてあなたに捧げます」と。しかし、その祈りは聞かれませんでした。最初は、家内の死を受け入れられませんでした。その時、牧師がヒゼキヤの話をしてくださいました。神様がヒゼキヤを哀れみ、彼の寿命を15年延ばされたという話です。1991年、家内が亡くなる15年前、甲状腺の治療を受けていた家内が、ある日癌と宣告され、手術を受けることになりました。手術の前日、医師から「悪性リンパ腫なら助からないと思ってください」と言わされました。ところが、あるはずの腫瘍がすっかり消えていたのです。それから15年後、家内は「悪性リンパ腫」で亡くなりました。神様は私の祈りを聞かれなかつたのではなかつたのです。15年前の私の祈りを聞いてくださいり、ヒゼキヤと同じよ

うに家内の寿命を15年延ばしてくださいました。そして、信仰のかつた家内に、救いをも得させてくださつたのです。家内は召されましたが、私の献身の思いは消えることなく、神様からの「召し」を待ちました。

3年後、滝元明牧師の伝道集会で神様からの言葉を頂きました。「ダマスコへ行きなさい」。イエス様がサウロに言われた言葉です。その「ダマスコ」が「KBI」と聞こえたのです。「KBIへ行きなさい。そこで、あなたのすべきことが告げられる」と。その時、「もしこの集会後に献身者への招きがあるなら、私は真っ先に手を挙げよう」と決めました。すると、「今日、献身して神学校に行く決心をした人は、手を挙げてください」と最初に招かれたのです。私は即座に手を挙げました。そして、滝元先生に前に出て来るよう言われ、先生は私の上に手を置いて祈ってくださいました。

今、私を召してくださいました。から感謝しています。主に栄光あれ！

アルゼンチン宣教便り

在原 繁



こと。久々の日本人教職者夫妻の来訪に、私たちの心は躍りました。

大田師の来訪に時を合わせるように、宣教地では感動的な行事が備えられていました。今回はそのことを報告いたします。

1) **水のバプテスマ** 宣教地到着の3日後は7日（土）、モンテカルロ教会でバプテスマ（洗礼式）が行われました。この日、郊外の小川で行われた洗礼式受洗者は6名。平均年齢は25歳でしょうか。奥地宣教地でも若人の救いが目立っています。

2) 時を先に飛ばして28日（日）、ピライ教会でもバプテスマが行われました。受洗者は40歳の女性一人。式に出席された家族、親族方の喜ぶ姿が印象に残りました。大田ご夫妻が帰国された後は1月18日（日）、続けて2名の姉妹方がピライ教会で受洗される予定です。主の御靈に触れられ、新しくされた神の聖徒たちは州内各地

去る12月4日、アンテオケ宣教会総主事・大田裕作師が奥様を伴い宣教地へと来訪されました。総主事来訪は実に32年前の安海師以来の



で増え続けています。

3) **ピライ教会会堂建設** 天井と照明の完成により内部の明るくなったピライ教会は、プラットホームの完成により、ようやく会堂らしい空間になりました。これも、大田ご夫妻の来訪に時を合わせるかのようでした。プラットホーム完成直後の最初の説教者は大田ご夫妻でした。

4) **献堂式（モンテカルロ教会）** 12月28日（日）開拓宣教から数えて16年目、モンテカルロ教会が献堂式へと漕ぎ着けることになりました。完成まではさらに年月を要する状況です。しかし、プラットホームと講壇の完成により、落ち着いた聖空間が開かれたわけです。これが献堂式への決め手となりました。献堂の「テープカット」重責は大田師。献堂式と大田ご夫妻の来訪は、真に、主の備えられた「恵みの時」でした。

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。」（伝道者の書3章11節）

□各グループ議長からのひとこと

FCMFの現状と課題

FCMF議長 小山大三



自由クリスチヤン伝道団フェローシップ（FCMF）は、ノルウェーからのペンテコステ自由クリスチヤン伝道団（FCM）に、デンマークミッションの諸教会、岐阜純福音教会（創立宣教師ご夫妻がノルウェー出身）および関連教会が加わる形で活動を共にしてきました。現在、枝教会なども含めて20の教会があります。

教師会を年に2回、信徒の役員さんたちも加えた総会を年に1回持っています。また、聖会が年に1回あります。今年は9月20日-21日に敦賀において中見透先生を講師に開催します。テーマは、「御靈によって生きる」（ガラテヤ5:25）です。教師会や総会の準備、諸教会の問題の相談にのる機関として、カウンセラー委員会があります。宣教師団および各地域の代表者によって構成されています。また、コロナ禍の中で新たに始ま

ったこととして、ZOOMによる月1回のFCMF教職者祈り会があります。

FCMFの課題として、牧師、信徒の高齢化があります。後継者の牧師を求めている教会がいくつかあります。また、若い世代の獲得が共通課題となっています。この状況の中で、韓国の宣教師の先生たちがすでに後継者となってくださっているのが、瀬戸サレム教会の林（イム）先生、神戸フィラデルフィア教会の金（キム）先生で、美濃グレースチャーチの辛（シン）先生は美濃市で開拓中です。須磨自由キリスト教会の平川美善（ミヨ）先生も韓国からの宣教師です。同教会でこの春に伝道師として立てられたヤコブ先生はインドネシア出身の先生です。このように、元々はノルウェー、デンマークとのつながりを持ったFCMFに新しい流れが起こっています。

なお、FCMFの20教会のうち14教会は、元々宣教師によって始められた教会です。後継者不足の課題はあります BUT、停滞状態を打破するためには、現状の中でも教会増殖のビジョンを掲げ、そのための具体的な方法を考え実行していく必要があると私は考えています。

子育て奮闘記

綾部キリスト福音教会 朝子孝一

「子育て」の時期は遠く過ぎ去り、高齢者介護のお世話になる年齢になりました。今更ながらと思いつつ、書かせていただきます。多くの親御さんたちがおっしゃっているように、子育てに成功したという自負心はありません。失敗と後悔ばかりで、今となっては申し訳ない気持ちです。

私たち夫婦は結婚して、息子2人娘2人が授けられました。次男は生後1年4ヶ月という短い生涯でした。ですから、実際に苦労して育てたのは3人ということになります。

子育ては目を離せない幼児期に始まり、高校・大学卒業まで経済的負担が両肩にずっしりとのしかかってきます。それでも、子育て・子どもたちとの生活は楽しいことばかりでした。幸いなことに、健康にも学校の成績にも恵まれました。どの親もそうだと思いますが、自分の子どもが一番かわいく、美しく、優秀に見えるものです。いわゆる親ばかですね。運動会やクラブ活動、ピアノの発表会など…。将来はどんな人になるのだろうと楽しみで、夢がふくらみました。

たいていの牧師家庭はお金のことで苦労していると思います。私たちの場合も、もうダメだと思うような時期が何度かありました。ある日、職業安定所に行き、「1週間に4日間ぐらい働かせてもらえるところはありませんか?」と相談しました。係の方が「あなたは今、何の仕事をしていますか?」と尋ねられ、「牧師です」と答えました。「牧師の仕事は学校の先生とか、ちゃんとした仕事についている人がやればよいのです」と言われ、失望しながら家に帰りました。

そして神様に祈り、約束しました。「神様、これから私は、献金袋に音のするお金は入れません。そして、十分の一献金を必ずします」。しばらくすると、100円札が硬貨になり、500円札も硬貨になりました。神様との約束で、音のするお金は献金しないことにしました。

神様は約束を守ってくださいり、何とか3人の子どもが自立できるまで生活を守り助けてくださいました。数少ない教会の皆さんからの献金による経済的支えがあったからです。

子どもたちは自立心が高く、貧乏?を苦に



楽しかった夏の旅行



お正月の楽しい食事を感謝します。

することなくクラブ活動も活発に、友達も多くあり、大勢日曜学校に連れてきました。今もその交流は続いています。

勉強や生活態度で、あまり細かいことは言わず、ほとんど放任状態だったように思います。教会の集会に出る習慣はほとんど自然に身に付けたと思います。

みなさんが感じておられることかも知れませんが、日本の宗教的文化と西洋のキリスト教文化は大きく異なっています。学校や町内の行事も宗教的なものが多くあります。私はそういうことにあまり首を突っ込みませんでしたが、日曜日の行事が多いのには今も辟易しています。

最近の社会は体罰厳禁です。下手をすると訴えられます。私の子どものころは体罰なんて当たり前でした。子どもが悪いことをしたり、親の言うことを聞かないと、文字通りムチで打ったり、廊下に立たせたりすることもありました。今なら訴えられます? ですから、今はちょっと反省しています。もう少し優しくしておいた方が良かったかなあ…。

でも、聖書には、本当の父親は愛があるので、自分の子どもをムチ打つと書いてありますから、どうなんでしょうか? その点、母親はいいですね。慰め役ですから…。母の愛は強し! とても勝てません。鞭よりも飴に魅力を感じるのはいつの時代も同じようです。

子どもを育てることは、親にとって、人生最大の事業です。しかも時間的制限があります。瞬く間に子どもは大人になります。子どもの信仰教育はクリスチヤンの親にとって一大事業です。現在、子どもたちは、それぞれ立派に社会と教会に貢献し、信仰生活を続けています。嫁や婿や孫たちも含めて、親である私たち夫婦に身に余る善いことをしてくれます。最高の息子・娘たちです。これって親ばかというのでしょうか。

「私はあなたのうちにいる、偽りのない信仰を思い起こしています。その信仰は、最初あなたの祖母ロイスと母ユニケのうちに宿ったもので、それがあなたのうちに宿っていると私は確信しています。」

(IIテモテ 1:5)

「けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっているなさい。あなたは自分がだれから学んだかを知っており、また、自分が幼いころから聖書に親しんできたことも知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。」

(IIテモテ 3:14,15)



息子、娘たちも大きくなりました。

あかし　主に感謝

松岡福音教会　長谷川悦子



私は子どもの頃、日曜日は姉と一緒に近所の教会学校に通っていました。きっかけは、母がクリスチャンでその教会に導かれていたからです。しかし、中学校の頃から礼拝に違和感を覚え、徐々に教会へ行く日が減り、姉からの礼拝の誘いも断っていました。それから何十年も教会に行く事はありませんでした。

しかし、15年前、息子が亡くなりました。失望感と後悔で心が沈み、誰かに助けを乞う思いで松岡福音教会を訪ねました。突然に教会へ訪ねた私を、主の家族の皆さんは温かく迎えてくださいました。「悲しむ者は幸いです。その人は、慰められるからです」。教会で、寄り添っていただいて、癒やされる体験をしました。長い間、自分が中心の生き方だった私に主が触れてくださり、罪深さに気づかされました。導いてくださる主を信じますとの告白で、洗礼にあずりました。

目に映る物に心が奪われたり、謙遜に欠ける思いが湧いたり、自己主張の言動があつたりと弱い私ですが、日々多くの祈りに支えられながら、現在まで信仰生活が守られ、主に感謝します。リーダシップも乏しく、人前に出ることをためらう私が、今は、役員や礼拝司会の奉仕にあずかり、主の教会のご計画に加われる喜びを感じます。また二人の孫たちは、教会学校に迎えられ賛美や御言葉やお祈りを教わっています。孫たちに与えられている環境に、幼い時から神様に触れられる幸せを感じます。

これからも、御言葉と主の家族に支えられながら、感謝と祈りをもって、主に仕える信仰生活を歩んでいきたいと思います。



救いの証

金沢フィラデルフィヤ教会　内山征次

私の家は、3代続いた船大工でした。私も中学校を卒業してすぐに船大工になりました。私の父は、毎晩酒を飲んでは妻や子どもに暴力を振るう人でした。そんな父を殺してやろうと思った時もありました。父はいつも、学校は行くな早く手に職をつけろと言っていました。本当に勉強できない私でした。ところが、23歳の時から向上心が出てきて、横須賀のキリスト教関係の夜間の英語教室に通い始めました。そこには、素晴らしい宣教師トムソン先生ご夫妻をはじめ、アメリカ海軍のチャップレンや将兵たちがいました。彼らは私たち日本人に、本当に優しく温かく英語を教えてくれました。また実に謙虚な方たちでした。そして時には、食事にも招いてくださいました。この人たちとの出会いが私がクリスチャンになるきっかけとなりました。そのうち、私は近くの金沢フィラデルフィヤ教会の英語バイブル教室に出席するようになりました。教えてくださったのは宣教師のラーソン先生でした。そして、教会の夏のキャンプに参加して、兄弟姉妹と共にイエス様を信じ救われました。私が救われて、1番喜んでくれたのは私を子どもの頃からかわいがってくれた姉夫婦でした。特に義理の兄は熱心な救世軍のクリスチャンでしたから本当に喜んでくれました。私が救われた当時、金沢フィラデルフィヤ教会は小さな教会でした。しかし本当によく祈り伝道し、少しづつ成長していきました。私は本当に良い兄弟姉妹に恵まれました。こうして、救われてから58年間信仰生活を送つてくることができたことを心より神様に感謝しています。最後にこの御言葉を書かせていただきます。

「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。わざわいの日が来ないうちに、また『何の喜びもない』という年月が近づく前に。」

(伝道者の書 12章 1節)

■新年聖会の恵み

〈イースト〉



2026年1月12日（祝）、秦野クリスチャンセンターにてイースト新年聖会が開催されました。



ゲストスピーカーに岐阜純福音教会の顧問牧師であられる小山大三先生をお迎えし、「いつも喜んでいなさい！」というタイトルでメッセージを頂きました。大三先生の楽しいメッセージの中にも、私たちクリスチャンがいつも喜んでいられるはずである根拠をわかりやすく語ってください、喜びこそ信仰のバロメーターであり、イエス様ご自身が公生涯の中において、喜びに満ち溢れていたことに習い、この2026年がTPKFの諸教会の皆さんにとりまして、いつも喜び溢れて、福音を宣べ伝えていく毎日であることを願い、最後は大三先生がお祈りをリードしてくださいました。その祈りの中で異言によって大胆に祈る時間も与えられ、新年を素晴らしい祝福と共にスタートすることができました。とても感謝な聖会となりました。

（町田純福音教会 小川祐司）

■福井自由キリスト教会 宣教70周年記念イベント〈FCMF〉



福井自由キリスト教会宣教70周年を記念し、2025年10月25日（土）、26日（日）、70周年アニバーサリーコンサートと記念礼拝が行われました。評判高いハーモニーホールふくいを会場とし、オープニングアクトにゴスペルのKGCM-FAMILY、メインゲストにRuah Worshipの3名をお招きし、約270名の方々がお越しくださいました。コンサートはまさに礼拝とも言うべき内容で、招きへの応答も数多くありました。記念礼拝では、岐阜純福音教会の小山大三

師を通して主からの希望あふれるメッセージとともにRuah Worshipの特別賛美もあり、両日とも主の臨在豊かな時でした。約1年前から信徒の方々の祈りの時が礼拝後にもたれ、さらに祈りが積まれ、年末には受洗者も起こされました。ハレヤ！主に感謝し、すべての栄光を主にささげます。

（福井自由キリスト教会 山本義武）

■水口キリスト福音教会50周年〈キリスト福音〉



当教会は会堂献堂50周年を迎え、ベアンテ＆ルリ子・ボーマンご夫妻を迎えて、神への感謝の時を持ちました。

2025年12月21日朝、50周年記念礼拝を、そして午後に記念祝会を教会員、地域の方々や多くの友人たちと共に集い、聖霊の慰めと祝福に満ちた時となりました。

午前の礼拝でご夫妻は音楽をもって主に仕え、ワーシップタイムも共に奏でてくださいり皆で賛美をお捧げし、説教は新しい契約に生きる群れとして聖書全体から福音の根源をなす言葉が語られ励ましを受けました。オリカイネン宣教師も来日され北カレリヤの諸教会よりのお祝いの言葉もいただきました。午後のコンサートはご夫妻のチェロとピアノの演奏の中で試練の中を通る者への神の愛と勝利が語られました。

なお、献堂50周年を覚え「感謝のあしあと」を発刊し主を讃えました。 （水口キリスト福音教会 福本早苗）

■ **KBI** KBIのためにお祈りとご支援をありがとうございます。毎年この時期は、次年度の新入生のために祈られます。今回は昨年度に比べて申し込みの出足がだいぶ遅れていますので、特にお祈りに覚えていただければ幸いです。主が今呼んでおられる兄弟姉妹が、信仰の一歩を踏み出すことができますように。

2026年度、KBIのテーマは「シン発見」です。シンは「深」「新」「真」。福音の深発見、自己の新発見、そして宣教の真発見です。み言葉はエペソ3章18節から「その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つ…」です。世の暗闇が益々濃くなっていくのを実感する今、イエス・キリストによって完成された唯一無二の福音をしっかりと握って学生たちが世の光、地の塩として遣わされていってほしいと切に願わわれています。 （関西聖書学院 高橋めぐみ）

教会紹介 ホープハウス 石川県金沢市旭町 2-8-38

あなたの教会のモットーは何ですか？

「誰でも集える場所」です。オープンな雰囲気を大切にして、カフェや英会話や楽しいイベント等を通じて関係性を作り、自然な形で神様の愛をシェアして広がっていくことを祈っています。

伝道は何に力を入れていますか？

日曜日の礼拝をバイリンガルで行うことで近くの英語を話す方々や英語に興味を持つ方への伝道にもなっています。他にも金曜夜（第5金曜を除く毎週）のイングリッシュカフェを10年以上続けていて、常連の方々の中には日曜の礼拝に来られた方、洗礼にまで導かれた方もおられます。

教会形成では何に力を入れていますか？

コミュニティとして、地域とのかかわりを大切にしています。その中で『楽しんで』できることをそれぞれが伝道として行っています。例：礼拝賛美、オンライン祈り会、メンズバイブルスタディー、英会話個別教室、パン作り教室、イングリッシュカフェでのゲームと話し合い、親子イングリッシュイベント（2カ月に一度）

（中林史郎）



教会情報・働き人情報

● 計報

ヘナ・ブルメンダール元宣教師 2025年12月26日召天。
1974年日本宣教に着任

■ キリスト福音

○ 日本フィンランド学校

2025年12月13日 クリスマス・セレブレーション

○ 水口キリスト福音教会

2025年12月21日50周年記念コンサート、ゲスト：ベアンテ&ルリ子・ボーマン師ご夫妻、記念誌「感謝のあしあと」発行

● KFK長老・執事訓練コース

2026年2月23日（月・祝）会場：日本フィンランド学校

■ イースト

○ 伊勢原聖書キリスト教会

藤原京子伝道師→1月牧師就任

藤原正臣牧師→1月相談役牧師着任

○ 富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ

教会住所の変更

416-0901 静岡県富士市岩本1863-4（電話・FAXは同じ）

● チャレンジキャンプ

2026年3月27日～28日、場所：川崎市青少年の家、
講師：新實千枝師「主が働くスペース」Ⅱコリント
12:9 対象：新中学1年生～学生ユース

■ FCMF

○ 秋の聖会

9月20日(日)～21日(月) テーマ：御靈によって生きる（ガラテヤ5:25）講師：中見透師 会場：きらめきみなど館・敦賀市

○ ホープハウス

ゲン・クラッセイエ宣教師は10月に帰国予定

■ TPKF

○ 第62回TPKF大会

テーマ：「オリジナル・ラブ—初めの愛—」

講師：須長克巳師（The Oasis リードパスター）

日時：2026年5月4日(月)～6日(水)

会場：湘南国際村センター

〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39

費用：☆宿泊者 2泊3日6食付 ①シングル 39,700円

②ツイン 35,200円 ③ツイントリプル 34,100円

④6名部屋（1つのみ）31,900円 + 参加費 3,000円

☆日帰り参加者 5,200円 参加費 3,000円 + 施設使用料 2,200円

振込先：ゆうちょ銀行 記号 10260 番号 37082781（アライケイコ）



申し込み用
QRコード

単立ペンテコステ教会フェローシップ諸教会

北広島自由キリスト教会／平川めぐみ教会／房総中央キリスト教会／大佐和キリスト教会／町田純福音教会／鶴見純福音教会

横浜フィラデルフィア教会／磯子フィラデルフィア教会／金沢フィラデルフィア教会／横須賀クリスチヤンセンター

保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル／戸塚カルバリ純福音教会／栄シャローム福音教会／伊勢原聖書キリスト教会／秦野クリスチヤンセンター

開成クリスチヤンセンター／北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会／南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会

甲府カルバリ純福音教会／ハーベスト・チャーチ山梨／裾野純福音キリスト教会／御殿場純福音キリスト教会／富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ

いのちのパンの家 湘南／小松ベタニヤ福音教会／ホープハウス／福音自由キリスト教会／ブンキヨウゴスペルセンター

松岡福音教会／丸岡福音キリスト教会／勝山自由キリスト教会/The Lighthouse 749（三国）／武生自由キリスト教会

グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会／小浜キリスト福音教会／小浜キリスト福音教会三方伝道所／高富グレイスチャペル

岐阜純福音教会／岐阜純福音白鳥教会／岐阜ライフチャーチ／美濃グレースチャーチ／本地ヶ原自由キリスト教会

瀬戸サレム教会／グレイスインクリスト教会（大阪キリスト福音教会名古屋伝道所）／滋賀キリスト福音教会／守山キリスト福音教会

大津韓国福音教会／大津キリスト福音教会／田上キリスト教会（大津キリスト福音教会伝道所）／甲賀キリスト福音教会／水口キリスト福音教会

甲西キリスト福音教会／雲井キリスト福音教会／米原ガリバート福音教会／綾部キリスト福音教会／亀岡ベタニヤ教会／京都キリスト福音教会

山科キリスト福音教会／深草キリスト福音教会／宇治キリストペンテコステ教会／木幡キリスト福音教会／京都ネットチャーチ

大阪キリスト福音教会／須磨自由キリスト教会／神戸フィラデルフィア教会／LifeShare Christian Center／南さつまキリスト福音教会

私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が1部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスにお願いします。pentecost@tpkf.org

TPKFの公式ホームページ <https://tpkf.org/>

